



人のうごき

《総人口》
97,875人 (-31)
男性 49,720人 (-13)
女性 48,155人 (-18)
《世帯》50,769世帯 (-16)

()内は、前月との比較です。

3・1
現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせ・市民カレンダーに掲載する写真を募集しています。詳しくは市ホームページをご確認ください。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

1/19 市民が市政に関する提言を市議会に向けて発表
《市民の声を聴く会》を開催



市議会では、市政に関するさまざまな課題について市民の皆さんの意見を聴く場として《市民の声を聴く会》を議場で開催しました。今回で8回目となる本会は、はじめての試みとして公募で選ばれた市民7人が市政に関する提言を実施。提言内容は「市民病院」「スポーツ宣言都市」「防災」「中心街の再生復興・再開発」など多岐にわたりました。5分間の発表が終了した後、議員の皆さんから確認事項についての質問がありました。今回発表された提言については、市議会で検討が行われます。

2/20 ~紫竹 昭葉さん講演会~ただひたすら 花と遊ぶ
花と緑の講演会

帯 広で約2500種の花々などが育つ《紫竹ガーデン 遊華》を運営している紫竹 昭葉さん、和葉さん(母娘)を講師に招き、《公益財団法人 ちとせ環境と緑の財団設立10周年記念講演会》が開催されました。とても94歳には見えない紫竹さんの元気の秘訣は美味しいものを食べることと何よりも花を楽しむことだそうです。「千歳の皆さんも何よりご自分が花を楽しんでください」との言葉に、会場中は温かな雰囲気になっていました。



2/20 千歳アイヌ協会が丸木舟《チブ》の制作を開始
原木となるカツラの木を伐採



千歳アイヌ協会(中村 吉雄 会長)は、アイヌ民族伝統の丸木舟《チブ》を制作するため、交付金を活用し新ひだか町の国有林で原木となるカツラの木の伐採を行いました。千歳アイヌ協会の皆さんが《カムイノミ》と呼ばれる儀式で祈りを捧げた後、作業員がチェーンソーを使い、切り倒しました。樹齢約250年、直径約1メートルの大木のほか2本のカツラを千歳に搬送しました。春以降、丸木舟《チブ》の加工作業をはじめ、今年9月に実施する《アシリチエブノミ》までに完成予定です。

1/30 2/6 新型コロナウイルス感染症対策
市庁舎内に抗菌・抗ウイルス剤を塗布



市は、新型コロナウイルス感染症対策として、不特定多数の人が使用する市庁舎内に抗菌・抗ウイルスコーティング加工を実施しました。確定申告や転出・転入届の提出などで多くの市民が来庁する時期を前に、手すりや窓口カウンター、ベンチ、トイレ、エレベーターなどの共用部に特殊な塗料を塗布しました。コーティング加工により、ウイルスや菌の増殖を抑制し、接触感染を防止する効果があります。使用環境により効果の継続期間は異なりますが、一般的には約5年ほどの耐菌効果が期待できます。

2/12 「渡さない」「教えない」で詐欺をブロック
啓発グッズを配布



特殊詐欺の被害を未然に防ぐため、千歳警察署は千歳防犯協会の協力を得て「キャッシュカードは渡さない」「暗証番号は教えない」というキャッチフレーズを入れた小旗と額入りチラシを作成し、巡回連絡を通じて店舗や一人暮らし世帯の住宅などに配布しました。チラシを受け取ったヘアースタジオナガモリ店主 長森 辰三さん(写真左)は「店内でも詐欺被害の話になりますが、自分は大丈夫と思っている方が多いと思います。今後は、お客さんに旗やチラシを見せて、油断しないよう声をかけていきたいですね」と話していました。

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

2/10 まるごと千歳・すべての学びを支えるまち
教育振興基本計画の原案を報告



千歳市教育振興基本計画策定会議(宮永 喜一 会長)は、教育委員会に《千歳市教育振興基本計画》の原案を報告しました。計画の策定にあたり、学識経験者、教育関係者など15人の委員が4回にわたる熱心な審議を行ってきました。本計画は教育に関する施策を総合的・体系的に進めていくことを目的にこれまで分かれていた《学校教育分野》と《生涯学習分野》をひとつに統合しました。次代を担う子どもたちが生き生きと学び、市民一人ひとりが生涯にわたって学習し、その成果を地域で生かし、ふるさと千歳の未来につなげることができるよう、学校、家庭、地域が一体となって人材を育むことができるまちづくりをめざします。